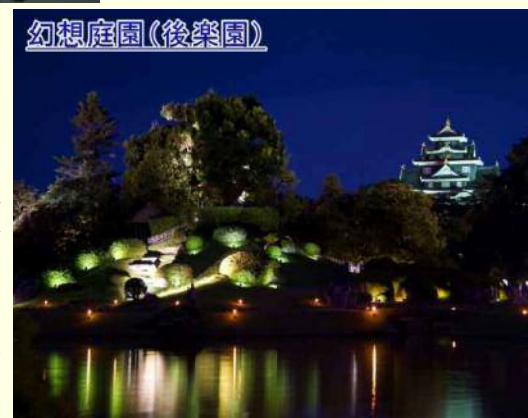


後楽園内から借景の操山を望む



昭和40年代、中心部の発展や新幹線の開通に伴い、岡山駅から伸びる主要な街路を中心に、「都市景観」を考えながらのまちづくりの取り組みが始まりました。この取り組みは、現在の景観計画の景観形成重点地区に引き継がれています。

また、昭和60年代以降、市中心部で高層建築が盛んになり、後楽園内からの眺望景観を保全するため、「後楽園背景保全地区」を指定し、一定高さ以上の建築物に対して、規制誘導が開始されました。現在も、操山を借景とする園内外の景観が一望できる延養亭からの眺めは、写真（上）のような景観が保たれています。



幻想庭園(後楽園)



西川・枝川緑道公園筋



岡山カルチャーゾーン



岡山市中心部では、主要な街路の沿道、岡山城・後楽園周辺について、景観形成重点地区に指定しています。

主要な街路は、岡山駅から伸びる市役所筋や桃太郎大通り、主要な賑わい拠点を結ぶ県庁通り、特徴的な景観を有する西川・枝川緑道公園筋など、8路線とし、沿道部分の壁面後退や修景緑化されたオープンスペースの創出により、快適な歩行者空間を形成しています。

岡山城・後楽園周辺の岡山カルチャーゾーンは、美術館・図書館・ホール等の文化施設が集積し、また岡山城周辺は遺構や街並み等城下町の面影を残す落ち着いた佇まいの地区です。



岡山後楽園・岡山城へは
岡山駅から徒歩約20分